

帰農で明日のむらづくり事業

取組に至る背景・事業の目的

- 三沢区に残っている、昔の地籍実測図に描かれているかつての田畑の半分以上が、現在耕作されておらず、農業従事者の高齢化等による遊休荒廃農地の増加が、地域の課題となっている。そこで、区民の協力のもと、遊休荒廃農地を開墾し、区民農園として再生させ、区民や退職者からの帰農者が農業を行う「帰農」の場を拡大する。
- 「帰農」という言葉には「昨日」の意味も込められており、区民自らが山野や田畑にもっと手を入られて、「以前のむらの姿」を取り戻すことが、次の世代への何よりの贈り物になると考えている。

事業内容

- 地域内の荒廃農地を復元して、区民農園として活用することにより、退職者の就農機会を創出、地産地消の促進、子どもたちへ農業体験の場を提供する。
- 獣被害により、耕作放棄されている棚田の稲作を、電気柵を設置し、区民農園として活用する。
- 炭焼き窯を築造し、区有林の間伐材などの山林資源を有効活用する。



【 炭焼き窯火入れ式直後 】

事業効果

- 荒廃農地の復元による区民農園の農地の拡大 13 a
- 電気柵設置により継続できた棚田での稲作 30 a
- 個人向け家庭菜園への区民の参加者 30人
- 稲作、穀物、野菜など共同農場への参加者 10人
- 炭焼き窯の築造への参加者 15人
- 田植え、稲刈りなど子ども達との農作業参加者 100人

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- 炭焼き窯は、区の林野委員会のメンバーや区内在住の土木屋さん、大工さんの力を結集し、区民の多くの人たちの力を得ることにより、完成することができた。また、区有林の間伐し、その間伐材で燃料と小屋掛けの材料を調達した。
- 御柱祭の年だったので、人手をとられ、小宮の御柱祭が終わる秋以降にならなければ、炭焼き窯の築造や荒廃農地の開墾という人手がかかる作業にとりかかることができなかった。

【選定のポイント】
 遊休農地を再生し区民農園や炭焼き窯の設置により、退職者等からの帰農者や子どもたちの農業体験の場を作るとともに、地産地消を推進し、地域の交流と活性化が期待できる。

団体名 岡谷市三沢区	事業タイプ	ソフト・ハード事業
連絡先 電話 0266-23-0663	事業費	946,602円
	支援金額	570,000円